



副病院長 林 美加子

猛暑であった夏が過ぎ、2016年も後半を迎えました。

半年を振り返りますと、年始は病院の医療情報システムの更新で幕を開けました。導入当初は慣れない点も多く、皆様をお待たせする局面もありましたが、現在では、安心して安全な歯科医療を支える病院の基盤として正確かつスムーズに運用しています。

この半年間に、当院には毎月約1,700～2,200人の新来患者様にご来院いただきました。この新来患者様の約60%は、吹田・箕面・豊中・高槻・茨木の近隣5市より来院されておられます。また毎月、延べ約800～1,100人の入院患者様と、毎日約900～1,000人の外来患者様を迎えています。

一方、昨今のグローバル化にともなう、本院は世界30カ国以上の皆様に受診していただけてきました。このような外国からの患者様に対応するために、国際歯科医療センターでは多言語（日本語・英語・中国語・韓国語）による治療解説用の画像ツールも準備し、ご理解いただきやすい診療を心がけています。

まさに、大阪大学のモットーでもあります「地域に生き、世界に伸びる」を実践すべく、職員一同努めてまいりますので、患者の皆様には、ますますのご支援をお願い申し上げます。

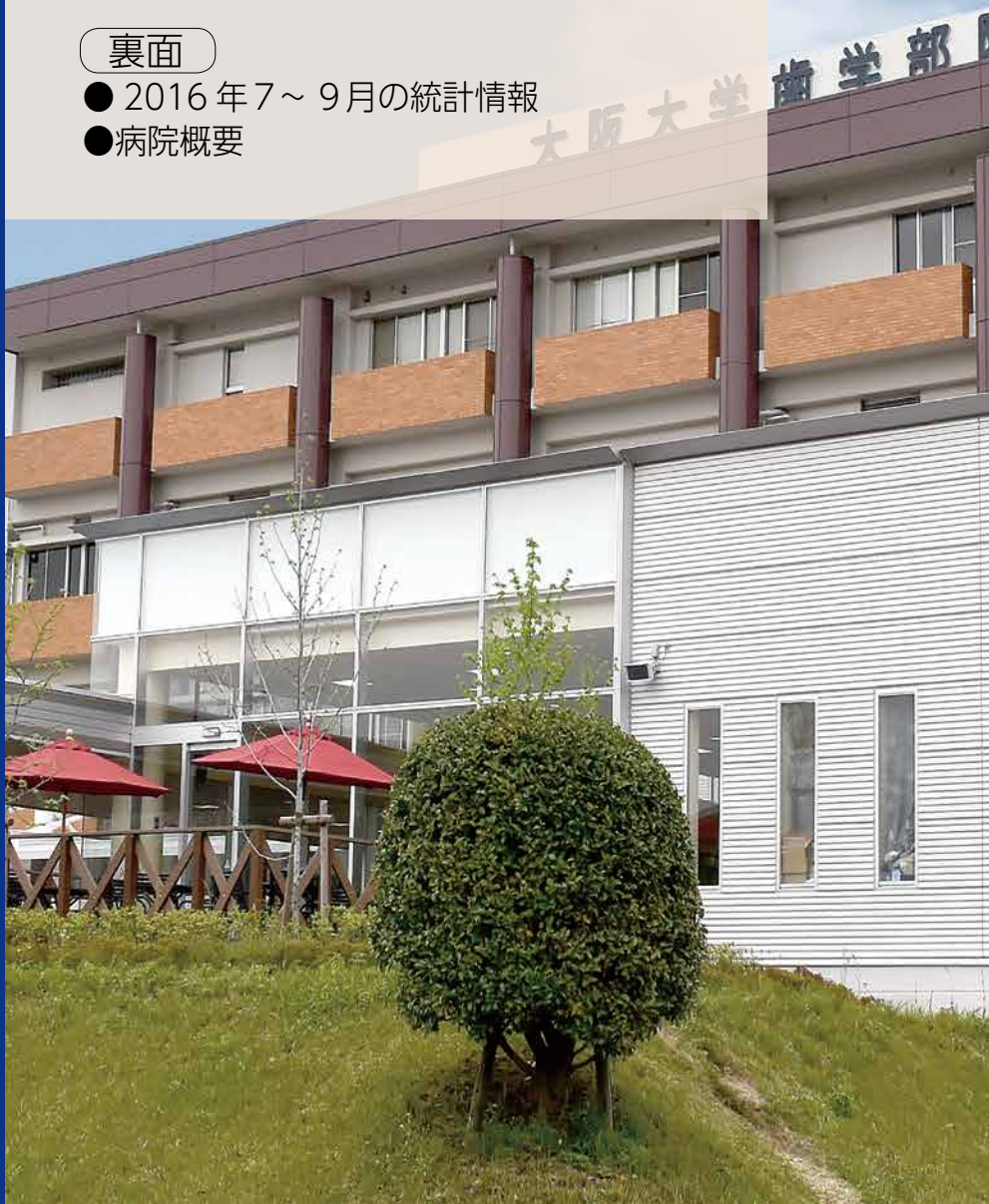
内面

- 特集1.
マタニティ歯科外来開設から2年
- 特集2.
「第14回 市民フォーラム」開催について
- 特集3.
気軽におしゃべりサイエンス

お口の相談コーナー
お口のマメ知識

裏面

- 2016年7～9月の統計情報
- 病院概要



受診される方が増えました

小児歯科では、平成26年10月より妊娠・出産を控えた女性を対象にマタニティ歯科外来を開設し、母親と産まれてくる子どもたちの口腔の健康を守る取り組みを行っています。私たちが窓口となって関連各科との架け橋となり、妊婦の皆様が安心して歯科を受診できるような体制を整えました。

病院のホームページや広報誌への掲載もあり、受診される方がますます増えてきました。

歯の治療だけではなく…

産まれてくるお子さんの多くは1歳半検診が初めての歯科検診となると思います。しかし、生後8か月頃に乳歯が生えてくると、むし歯菌はお口の中に定着しはじめます。そこで、産まれてくるお子さんのお口についての正しい知識を、できるだけ早い時期にお母様に持っていただくことは大変重要であると思います。マタニティ歯科では出産前に「子どもの歯の健康の話」を聞いていただき、お子さんのむし歯の予防法も説明しています。

歯の治療のため来院される方もいらっしゃいますが、産まれてくるお子さんの



スタッフから説明を受ける妊婦さん。

ために正しい情報を得ることを目的に来られる方も多くおられます。

私たちスタッフ一同は、マタニティ歯科外来を通して、妊娠・出産を控えた女性と産まれてくるお子さんの健康のお役に立ちたいと考えています。お気軽に受診していただければ幸いです。



わたしたちがお手伝いします。

※ 詳細はホームページをご覧ください。

大阪大学 マタニティ歯科外来

検索

「食べる」「くらす」「いきる」
健口がささえる健康長寿

【講演内容】※一部抜粋

「良い義歯が運ぶ健康と 食べる喜び」



松田 謙一

大阪大学大学院歯学研究科
歯科補綴学第二教室 助教

適切な義歯を装着することが、食べる喜びや健康にとってどれだけ大切で役立つかということについてお話しします。

「眠る口、眠らない口」



加藤 隆史

大阪大学大学院歯学研究科
口腔解剖学第二教室 講師

快適な睡眠を維持するために、口と眠りについて、身近ないびきや歯ぎしりを取り上げてお話しします。

「ここまで分かった、健口が守る心臓と脳」



仲野 和彦

大阪大学歯学研究科
小児歯科学教室 教授

口の中に棲息している500～700種類もの細菌が及ぼす心臓や脳への影響について、最新の情報をお話しします。

お口の相談
コーナー



「歯が悪くないのに歯が痛い？」（三叉神経痛）

1. 非菌原性歯痛

歯の痛みのほとんどは歯(または歯周組織)に原因があります。しかし、まれに**歯が原因ではないのに歯の痛みが生じる**場合があります。これは非菌原性歯痛といわれています。診断が難しく、時間を要する場合があります。また、非菌原性歯痛と判断しても、詳しい原因まではわからないこともあります。非菌原性歯痛として有名なものに三叉神経痛という病気があります。

2. 三叉神経痛とは

三叉神経痛とは、顔面の感覚を脳に伝達する三叉神経で痛みを感じる病気です。痛みの性質に次のような特徴があります。

- ・発作的な激痛
- ・歯磨き、洗顔、化粧、髭剃りなどの**軽い刺激**で痛みが生じる
- ・痛みが生じるのは左右片側のみ

困ったことに、三叉神経痛で歯が痛くなることもあります。その場合、多くの患者さんは歯科を受診しますが、歯の神経の治療や抜歯をしても治りません。

3. 三叉神経痛の治療

三叉神経痛の治療としては、カルバマゼピンというお薬の処方が一般的です。多くの場合、痛みがなくなったり、改善したりします。本来はてんかんのための薬ですが、神経が痛みを伝達するのを抑制する効果もあります。また、その他の薬を併用する場合があります。しかし、副作用

歯科麻酔科 講師 花本 博

に注意する必要がありますので、担当医の指示をよく守ってください。また、手術が有効な場合もあります。三叉神経痛の多くは神経が血管によって圧迫されることが原因であることがわかってきており、カルバマゼピンでもコントロールできない患者さんでは手術を考慮して脳神経外科を受診していただくこともあります。

詳しくは担当医にご相談ください。



特集3 気軽におしゃべりサイエンス

Science café @大阪大学歯学部附属病院 が開催されました。

6月から、歯学部附属病院1階のCAFÉ de CRIÉで行われる新しい試みとして、Science café@大阪大学歯学部附属病院が始まりました。このサイエンスカフェは、「大阪大学で行われている、最先端の多様な研究について知ってほしい」「地域の方が、気軽に研究者と交流できる場を学内に作りたい」という思いから生まれており、「気軽におしゃべり」がコンセプトとなっています。

第1回は、「太陽ってどんな星?~太陽系誕生秘話」をテーマに、理学研究科の寺田健太郎教授がお話しました。私たち人間とは全く異なる時間軸で生きている星の一生のこと、太陽系の惑星たちの特徴などについて話が進められました。

第2回は「歯を支える骨の話」をテーマに、歯学研究科の波多賢二准教授がお話しました。私たちの体内で様々な役割を担い、「硬くて丈夫」「体を支える」といった従来のイメージとは違う骨のアクティブな一面について、いろいろな例えを用いながら紹介いただきました。

会場では、集まった約30人の参加者が、飲

み物や焼き菓子を楽しみながら先生の話を耳を傾けました。単にお話を聴き続けるのではなく、クイズに答えたり、質問を挟んだり、「気軽におしゃべり」のコンセプト通り、先生と参加者が、共に科学について考え、楽しむ時間となりました。集まった参加者からは、「気楽にお話を聞いて面白かった」「難しい内容でも、わかりやすい言葉で説明してもらえたので理解が深まり嬉しかった」という声があがりました。

第3回は11月18日(金)16:30~18:00 文学研究科助教 森本慶太先生、第4回は12月9日(金)16:30~18:00 歯学研究科教授 天野敦雄先生にお話しいただきます。これからも、科学について皆さまと気軽に語り合う場でありたいと思います。

会場 ● 大阪大学歯学部附属病院 1F
CAFÉ de CRIÉ
参加費 ● 無料(ドリンク購入は各自)
定員 ● 約30名(事前申込が必要、申込先着順)
問合せ ● 大阪大学 21世紀懐徳堂
TEL: 06-6850-6443
Email: info@21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp
※ 病院での受診がなくてもご来場いただけます。

お申し込み方法

- 開催当日の1ヶ月前から受付開始
- webフォームまたはFAXにてお申込ください。
- webフォームは「21世紀懐徳堂」で検索
- FAX: 06-6850-6449
- タイトルを「歯カフェ申込」とし、
①参加希望回、②氏名、③フリガナ、
④お住いの市町村、⑤年代、⑥FAX番号
を明記して送信してください。



「動けなくなったときこそ守りたい口の健康」



村上 旬平

大阪大学歯学部附属病院
障害者歯科治療部 講師

ご自身や大切なご家族が動けなくなった場合に備え、口の健康を崩さないことの大切さや歯科治療を受ける方法についてお話しします。

「最後まで口から食べるために 今からできる準備」



村内 光一

大阪大学歯学部同窓会

最後まで口からおいしく食べていくために、今から準備しておくことについてお話しします。

日時 ● 2016年11月19日(土)
13:00 ~ 16:00

場所 ● 千里ライフサイエンスセンター5階
サイエンスホール
豊中市新千里東町1-4-2

定員 ● 250名(入場無料)

インターネット・Eメール・はがき・FAXにて受付。

①氏名・②住所・③性別・④年齢・⑤連絡先(電話・FAX)を明記の上、以下よりお申込みください。

http://www.dent.osaka-u.ac.jp/forum.html
Eメール: 14sanka@dent.osaka-u.ac.jp
Tel・Fax: 06-6875-8300

締切: 11月9日(水) 必着

※ 詳細はホームページをご覧ください。

大阪大学 歯学部 市民フォーラム 検索

「胃の調子が歯に与えるもの」

お口の
マメ知識



歯磨きもしているし、甘いものもそれほど食べないのに「歯がしみる」「歯が欠けてくる」という方は、次のような症状はありませんか? チェックしてみてください。

- よく胸焼けがする
 - お腹が張り、ゲップがよく出る
 - のどに違和感がある
 - 酸っぱいものや苦いものがあがってくる
- 一つでも当てはまるものがあると、**胃食道逆流症**(GERD・ガード=胃酸が逆流してくる病気)の疑いがあります。

写真1



思い当たることがある方は、**内科を受診**されることをお勧めします。

また、次のような生活習慣は、胃食道逆流症になったり、症状を悪化させることがあります。

- 夜遅くにたくさん食べて、すぐ寝る
- 油っこいものが好き
- 過度の喫煙・飲酒の習慣がある
- 肥満傾向にある

この病気になると、歯が溶けてくる場合があります。それは胃酸による**酸蝕症**と呼ばれます。写真1では歯の先端がギザギザしています。症状が進むとガラスのように透き通って見えることもあります。また、写真2のようなタコ焼き器に似た凹みができることもあります。

胃酸で溶けた歯はむし歯とはちがひ、黒くはありませんが、**進行するとむし歯と同じ**で、しみたり、神経にまで達すると大きな痛みを生じたりします。

障害者歯科治療部 准教授 秋山 茂久

食べ過ぎ・肥満は要注意

胃が拡張し、下部食道括約筋が緩むと、胃酸の逆流を起こしやすくなります。肥満の人ほど起こり易いことが判明しています。以下のものも、**摂り過ぎ**と症状が出たり、悪化させることがあります。

アルコール・酸っぱいもの・カフェイン・香辛料

タバコは、すべての疾患についてNG

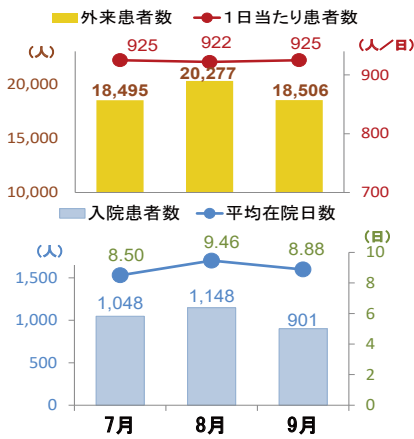
慢性的に吸っている人は、そうでない人に比べて、**胃の中の酸性度が**高く、逆流性食道炎になるリスクが高いと言えます。

写真2

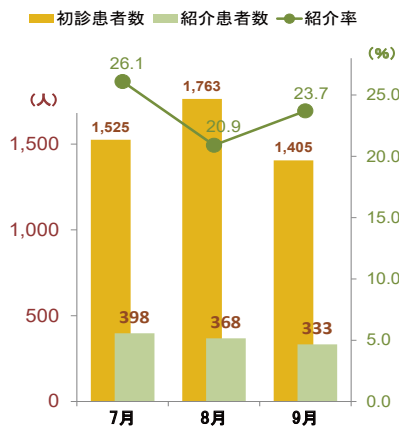


7月～9月患者数等統計

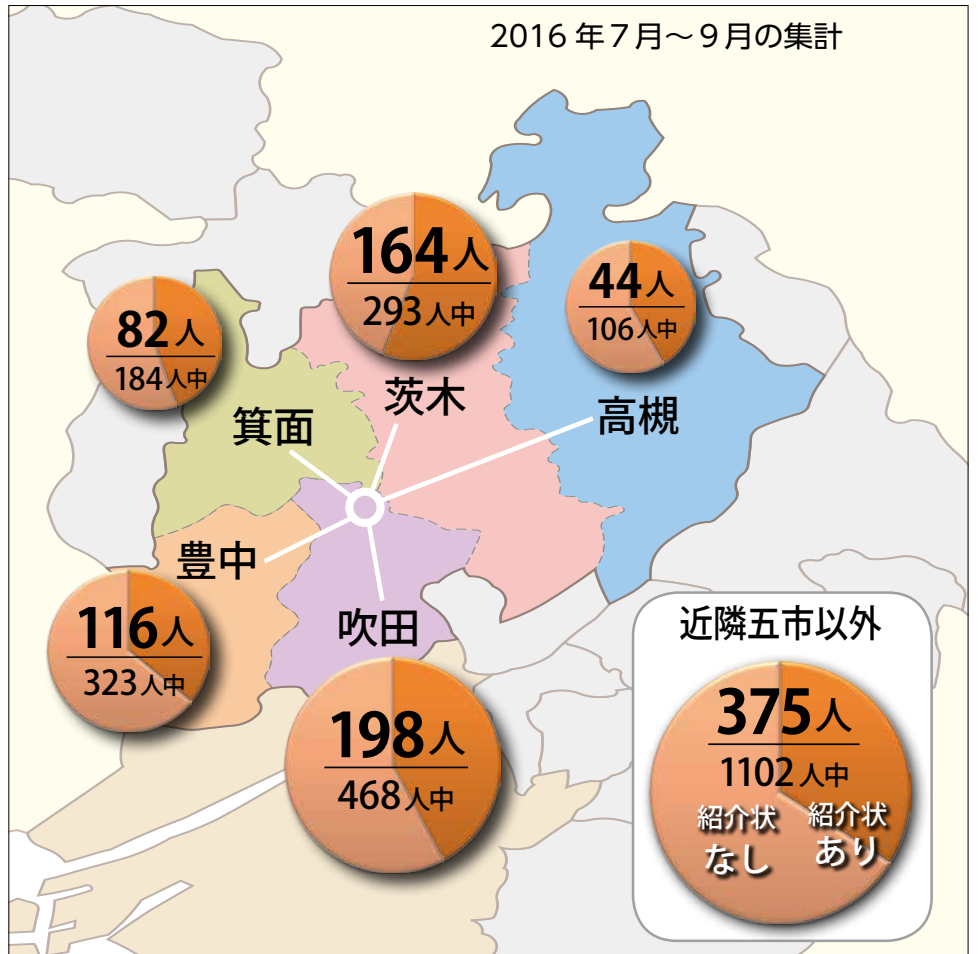
外来患者数・入院患者数



初診患者数と紹介患者数比率



近隣五市の新来患者に占める紹介状持参患者数



病院概要

診療日：月～金 休診日：土日祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

受付時間：【初診受付】8時30分～11時30分（初めて受診の方、紹介無し可）

【再診受付】8時30分～15時00分（原則として全科予約制）

住所：〒565-0871 吹田市山田丘1番8号

電話番号：（代表）06-6879-5111（時間外）06-6879-2848

標榜診療科：歯科、矯正歯科、歯科口腔外科、小児歯科

診療内容

口腔衛生指導、虫歯治療、歯周病治療、歯周再生治療、差し歯、入れ歯、インプラント治療、口腔癌治療、口唇口蓋裂治療、障害者歯科治療、摂食・嚥下、スピーチ治療、スポーツ歯科、口臭外来、ドライマウス外来、睡眠時無呼吸、歯の外傷治療等

電話による病気や症状に対する相談には再診料がかかることがありますので、ご承知ください。

夜間休日の緊急診療につきましては、あらかじめお電話(06-6879-2848)のうえお越しください。

入院患者さんへのご面会時間は、12時から19時となっております。

病院へのアクセス

http://hospital.dent.osaka-u.ac.jp/hospital/hospital_000009.html

歯学部附属病院にお車で越しの際は、西門（歯学部門）よりお越しください。なお、平日夜10時以降、土、日および祝日は、千里門よりお越しください。

看護師募集中！

—お問合せ—
歯学研究科総務課人事係
06-6879-2834 まで